



毎月5日発行

M o n t h l y

情報掲示板

社会保険労務士法人 **MAC**

税理士法人 望月会計

第 77 号

TEL : 0263-34-4488 FAX : 0263-34-0054

<http://www.sharou-mac.com/index>

中小企業における

「賃金」と「雇用」の状況は？

◆中小企業のほうが

賃金改善に前向き？

帝国データバンクが発表した「2014年度の賃金動向に関する企業の意識調査」の結果によると、賃金改善を見込んでいる企業の割合は 46.4% (前年度比 7.1 ポイント増) で、2006 年の調査開始以降、最高の見通しとなったそうです。

賃金改善が「ある（見込みを含む）」と回答した割合は、意外にも大企業よりも中小企業のほうが高く、47.6%でした。

改善内容については、「ベースアップ」(34.0%)、「賞与（一時金）」(27.8%) が上位を占めましたが、こちらも中小企業のほうが割合は高く、「ベースアップ」(35.5%)、「賞与（一時金）」(28.2%) となりました。

◆3社に1社は給与水準アップ

また、日本政策金融公庫総合研究所が行った「全国中小企業動向調査」の結果では、正社員の給与水準 (2013年 12 月時点) を前年同月と比較し、「ほとんど変わらない」と回答した企業

の割合が 64.2%で最も多かったのですが、「上昇した」と答えた企業の割合も 34.1%ありました。

賞与についても、「ほとんど変わらない」と回答した企業の割合が 56.0%で最も高かったのですが、「増加」と答えた企業も 29.3%ありました。

賃金総額 (2013 年 12 月時点) の前年同月比は、「増加」と答えた企業の割合が 46.0%、「ほとんど変わらない」が 43.8%でした。

◆約3割の企業で正社員が増加

次に、従業員数 (2013 年 12 月時点) の前年同月比は、正社員では「変わらない」と答えた企業の割合が 51.4%、「増加」と答えた企業の割合は 31.5%でした。

正社員が増加した理由を見ると、「将来の人手不足に備えるため」が 47.3%でトップ、「受注・販売が増加したため」(36.3%)、「受注・販売が今後増加する見通しのため」(28.9%) が続きました。

一方、正社員が減少した理由については、「退職者・転職者があったが人員補充できなかったため」が 64.6%でトップ、「受注・販売が減少したため」(17.2%)、「もともと人員が過剰だったため」(9.9%) が続いています。